

令和 3 年度 第 2 回 学校運営協議会記録

	学校名	払戸小学校
開催日時	7月6日(月) 11時20分～12時00分	
出席者	委員：戸部正行 畠山善美 菅原恵子(代理) 伊藤睦子 泉裕樹 校長：一関隆則 教頭：長谷川礼	
協議内容	<p>1 校長あいさつ</p> <p>2 協議・情報交換</p> <p>(1) これまでの取り組みについて(別紙)</p> <p>(2) 授業参観等での子どもたちの様子から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクのせいもあるかもしれないが、3年生以下の子どもたちの声が小さいと感じた。 ・6年生がタブレットを使っていたが、教科書、ノート、タブレットを置くと机が狭い。 ・30年ぶりに小学校の授業を参観した。10名以下の学級を見ると少子化と学校統合が現実なのだと感じる。 ・花や野菜を育てること等環境整備に力を入れているのが分かる。 ・タブレットを使うことで子どもたちの能力も伸びるのだろう。 ・1年生は恥ずかしがりながらもみんなの前で発表できていたことに成長を感じた。 ・いすに座ったときの姿勢や、返事がすぐに返らないことについては、保育園から気をつけて繰り返し指導していきたい。 ・「きちんと返事をする」「背筋を伸ばして座る」など、昔の人間には気になることも多いが、今の学校教育は別の面を伸ばすことに力を入れているのかもしれない。 ・2年生の先生が元気にはつらつと子どもたちと関わっていることに好感をもった。子どもと共に学習を楽しんでいるのが感じられた。 ・確かに姿勢は気になったが、机と椅子の高さが子どもの体格に合っていないことも一因ではないか。 ・高学年になったらもっと落ち着いて学習に臨んでほしい。 ・休み時間はとても元気な子どもたちだが、登校時のあいさつはまるで別人のようで、進んで元気にあいさつできる子どもは数名である。 <p>(3)今後の活動について</p> <p>男鹿市CS情報交換会・・・9/22</p> <p>第3回学校運営協議会・・・9/30</p>	